

R7 重点課題の評価

東加積小学校アクションプラン -1-	
重点項目	学習指導
重点課題	基礎基本技能の習得
児童の現状	・中・高学年より低学年の方が、意欲的に学習に取り組んでいると考える児童が多い。 ・「授業の時、先生や友達の話をしっかり聞いています」「授業で分からないことがあれば、先生や友達、家の人に聞いて、分かるようになると努力している」、児童が多い。 ・「授業の時、丁寧に文字を書いている」に課題がある。
具体目標 数値指標	漢字・計算の基礎技能の習得率80%以上の児童が80%
方策	〈授業〉 ・学習形態を工夫するなど、少人数のよさを生かして、児童一人一人が技能を習得できるような授業を行う。 ・漢字の効果的な覚え方の指導方法について、共通理解を図る。 ・ノートの書き方の学年の段階に応じた指導について共通理解を図る。 ・ネットドリルで間違えた問題等に重点的に取り組みなど、ICTの活用を図る。 〈練習方法〉 ・日頃からモジュールの時間を利用するなど、各学級で漢字・計算練習に繰り返し取り組む。支援が必要な児童には個別指導を行うなど、極端に落ち込みが見られないように配慮する。 ・前期の評価テスト(単元テストのまとめ問題50問等)やチャレンジテスト(1月下旬)に向けて、担任が学級の実態に応じた問題に取り組ませ、習熟を図る。 ・評価テストやチャレンジテストに満点で合格した児童は、全校児童の前で表彰する。 〈家庭学習〉 ・手本となるようなノートの例を積極的に紹介する。 ・家庭でも評価できるように「学校教育アンケート」に、「子供は、基礎基本が定着している。」という項目を加えて、3「ややそう思う」4「そう思う」と答える保護者の割合を報告し、啓発する。

東加積小学校アクションプラン -2-	
重点項目	徳育指導
重点課題	自ら考え進んで働く児童の育成
児童の現状	・縦割り班での掃除(月・水・金)は、時間になると担当場所に行って働くことができています。 ・しかし、掃除の仕方は適当で、すぐに終わって時間を持て余す児童が目立つ。 ・掃除の時間にも関わらず、会話をしたり手が止まっている児童もいる。 ・自ら考えて仕事を見付け、進んで働く意識は、まだ十分とは言えない。
具体目標 数値指標	掃除の時間に、黙って、時間いっぱい、自ら仕事を見付けて働くことができる。(70%)
方策	・「時間いっぱい働く」「黙って働く」「自ら仕事を見付けて働く」の目当てをもとに、自己評価をする。 ・その基準として、月に1回チェックカードに記入して、その内各項目が5回中4回以上(15回中12回以上)できていれば達成とする。 ・4月から5月に3日間、確認する。それ以降の月は、毎月1日(土日の場合はスライド)に確認する。(前日に予告をする) ・生活リズム委員会が中心となり、全校に向けて呼びかけの活動をする。 ・道徳や学級活動に「掃除をする」ことについての内容を取り入れ、掃除の仕方を指導し、その必要性について児童が考える機会を設ける。 ・家庭でも評価できるように「学校教育アンケート」に、「子供は、進んで家の仕事をしている。」という項目を加えて、3「ややそう思う」4「そう思う」と答える保護者の割合を報告し、啓発する。

東加積小学校アクションプラン -3-	
重点項目	健康・安全指導
重点課題	運動・遊びの日常化
児童の現状	・3015を活用し、体を動かして遊んだり、運動に意欲的に取り組んだりする子供たちが多い。 ・体力テストを見ると、投力、握力で県・全国平均を下回っており、課題となっている。また運動技能の個人差も大きい。 ・外でたくさん遊んだり、毎日運動したりしたらよいと考えている。 ・苦手な運動にも、あきらめずに練習したいと考えている。 ・運動委員会が呼びかけた運動集会には多くの子供が参加したり、なかよし班で協力して取り組んだりする様子が見られた。
具体目標 数値指標	「富山元気っ子3015チャレンジマップ」立山編 一ノ越通過80% 立山編 :1学期 プナ坂 2学期 天狗平 3学期 一ノ越 ※さらに進める児童は大汝山・富山湾深海を目指す。
方策	〈富山元気っ子3015チャレンジ〉 ・チャレンジ3015アプリまたは紙に印刷したものを活用し、自分のがんばりを視覚化できるようにして全校児童が目当てを達成できるように取り組む。 ・東っ子委員会が給食時の「お昼の番組」やポスター等で運動の紹介を行うことにより意欲的に取り組めるようにする。 ・記録の意義を伝え、朝の時間や休み時間を利用し、記録時間を確保する。長期休業中は、定期的に進捗を確認し、記入を促す。 〈体育の授業〉 ・運動の楽しさを伝え、みんなが参加し、一人一人が活躍できるルール作りを工夫することで、運動好きの子供を育成する。 〈さわやかタイム〉 ・火曜日と木曜日の業間に活動する。 ・晴天時ではグラウンドで、ジョギング走、スキップ、後ろ向き走り、タイヤ踏台昇降、ジャンプスクワット、足上げの6つの種目を行う。 ・雨天時では体育館で、ハンドグリップ、側転、足打ち等の種目を行う。また、重点期間を設定し、チャレンジランキングの種目練習会を休み時間に設ける。体育の準備運動、休み時間の遊びなど、日常的に取り組む、技能向上を目指す。 ・なわとび運動では、なわとび級表を活用したり、異学年交流をしたりして、楽しみながら取り組めるようにする。 〈その他〉 ・生活リズム委員会が中心となって、体調管理・健康増進につながる活動に取り組む。 ・各委員会が集会を企画し、異学年の運動に取り組む。子供は、よく運動したり外で遊んだりしている。 ・「学校教育アンケート」に「子供は、よく運動したり外で遊んだりしている。」の項目を変えて、3「ややそう思う」4「そう思う」と答える保護者の割合を報告し、啓発する。